


12月度 <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>		報告者	津田、山田	参加 メンバー	CL:町田、SL:山田、亀山 津田 全豊田山岳部員 11名 計 15名
山域	木曾	報告日	12/10		
山名	御嶽山	山行日	08年12月6日(土)~ 08年12月7日(日)		

山行目的	雪上訓練	コースタイム(天候:天気図記号)
配布先	ルート図(地図を見て正確に)	12/7(日)快晴+強風
集会:12		4:00 起床
山行:1		5:30 山頂アタック
リダー		7:00 アイゼン装着
原紙:集会 担当者		8:00 9合目小屋 8:40 御嶽山頂上 9:30 女人堂着 テント撤収 10:30 閉会の挨拶、下山 11:30 飯森駅登山口着 ロープウェイ乗車 12:30 駐車場発 13:00 木曾温泉 14:00 温泉発 17:30 刈谷着、解散
2.5万分の1地図: 木曾福島、御嶽山		

山行報告 2日目 4:00 起床。準備を終えテントの外に出ると、体感温度で-20 位あると感じられる程寒い。強風が吹きつける中の山頂アタック。場所によっては腰まである新雪の中をラッセルで進む。15人交代のラッセルが1時間半続いた後、雪が締まってきたのでアイゼンを装着する。冬は直登で斜面が急なため、アイゼンを引っ掛けないように慎重に登る。9合目小屋前の急登で再びラッセル。本日2度目のラッセルの番だが、既に体力を消耗しているため小屋までたどり着けず。亀山さんにバトンタッチ。そのまま小屋までスタスタと登って行ったのを目の当たりにし、実力の差を感じた。まわりが明るくなるにつれて風が治まってきた。小屋で小休止した後、頂上直下の稜線に出る。昨年は強風のためここで断念したが、比較的風が弱く“今年も行ける!”と確信した。頂上の神社が見えてきが、なかなか近づいてこない。最後の力を振り絞って頂上に到着。メンバーと硬い握手を交わし、登頂の喜びを分かち合った。頂上は一面の銀世界で、遠くには真っ白な穂高連峰や乗鞍岳が見え、しばし疲れを忘れることが出来た。下山は同じコースを取り1時間で女人堂に到着。中研の岩堀さんより閉会の挨拶があり雪上訓練が無事終了した。帰りに美味しい信州そばを食し、17時に刈谷に到着した。

最近、年末の雪訓は御嶽がパターン化した。寒さといい、風の強さ、積雪、アプローチの手軽さ全てがカバーできるグレンデだ。今年もラッセル(なんとワカン使用)で入り新雪を踏み分けて女人堂にエスパースを張る。過去に強風でポールを折られた教訓を活かして竹ペグ・張り綱はキッチリ固める。技術的な訓練はもちろん大事だが、雪の中での生活体制作りを合宿前に、自分の体に落とし込む所にこの時期の雪訓意義を感じる。2日目の強風も体感温度も体力の確認も参加4人がそれぞれ実感できた。天気恵まれ山頂まで富士山・乗鞍・穂高・中央アの白い山々を十分見ながらのアイゼン歩行も最高のグレンデだった。合宿までに体力強化・装備見直し・行動スピード(パッキング・アイゼン脱着 etc)の見直しと共同装備の再検討(テント仕様・ガス量 etc)に是非つなげて欲しい。



確認  
(リダー)

町田  
08/12/09

作成  
(報告者)

山田  
08/12/09